

## 地域会議からの意見（諮問・答申）

### （1）地域会議の概要

豊田市では、豊田市地域自治区条例に基づき、地域社会の住民自治力（地域力）を高めるため、市民とのパートナーシップのもとで最も効果的、効率的に地域課題の解消を図り、自信と誇りの持てる地域づくりを目指す、「地域会議」を地域ごとに設置しています。

地域会議は、地域の専門家であり、地域の多様な意見の集約と調整を役割としています。地域のことは地域住民自ら考え、実行でき、地域住民の意見を市政に的確に反映し、地域との共働により地域課題の解決を図っていく、その実現に向け、市街地及び山間地域の2つの地域会議へ諮問を行い、市民の意見を答申としていただきました。

#### ■実施概要

参加者	地域会議委員（自治区長・役員、民生委員・児童委員、地区コミュニティ会議、自主防災会、高齢者クラブ、保護司、社協職員など）
開催地区と参加人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・足助地域会議 17人</li> <li>・若林地域会議 20人</li> </ul>
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・足助地域会議 令和4年7月25日 諮問・趣旨説明・意見交換 9月26日 答申（地域発取組提案）</li> <li>・若林地域会議 令和4年7月22日 諮問・趣旨説明・意見交換 9月30日 答申（地域発取組提案）</li> </ul>
諮問内容	<p>第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本目標である「1 地域の支え合いの仕組みづくり」「2 地域福祉の担い手づくり」に資する地域発の取組提案について</p> <p>&lt;特に提案いただきたいアイデア・手法&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域で支援対象者を発見するアイデア・手法</li> <li>② 「地域の支え合いを推進する」「地域福祉の担い手を創出する」アイデア・手法</li> </ul>

#### ■地域会議の様子



若林地域会議の様子（R4.7.22）



足助地域会議の様子（R4.7.25）

## (2) 地域会議の結果（答申内容＝市民の提案）

答申いただいた主な内容（地域発の取組提案）は以下のとおりです。

### 1 地域で支援対象者を発見するアイデア・手法

地域で行うこと（行いたいこと）	共働で行うこと、支援してほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ささえあいネット」の対象を高齢者だけでなく、障がい者や子ども等幅広に対応することで、早期発見・見守りができる体制をつくる</li> <li>○地域住民に「（仮称）福祉特派員」として登録してもらい、地域の先端窓口としての様々な気づきを社協支所に随時連絡してもらい、関係機関や専門家と連携して対応していく体制をつくる</li> <li>○日常のごみ出しや、洗濯物の頻度、郵便物や新聞の溜まり状態などに異変を感じた時に、報告や連絡・相談をできる窓口、連絡網を自治区で作成し、民生委員や行政など支援機関へ繋げる体制づくりを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ささえあいネット」の弾力的運用や「（仮称）福祉特派員」の仕組みづくりへの支援をしてほしい</li> <li>○公共施設や区事務所、回覧、地域協力店など日常生活の目に留まる場所に、地域福祉情報や相談窓口のQRコードなどを設置し、相談することに対する心のハードルを下げる環境づくりを進める</li> <li>○地域福祉に関する相談窓口が市内の各地域に設置されおり、誰でも気軽に相談できるということを積極的に周知する必要がある</li> </ul>

### 2 「地域の支え合いを推進する」「地域福祉の担い手を創出するアイデア・手法

地域で行うこと（行いたいこと）	共働で行うこと、支援してほしいこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>○日頃から顔の見える近所付き合い・人付き合いが重要、各地域においてお互いの信頼関係を構築するよう働きかけをより積極的に実施していく</li> <li>○地域の支え合いを推進するため、地域のお祭りや行事など地域住民同士がふれ合う交流の機会を増やす。隣近所を基本とする組や自治区ごとの催しや、多世代交流として子ども会と高齢者クラブのコラボ企画など地域内の顔の見える関係が広がる機会を創出する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学生、高校生、大学生等を対象に、早い段階から地域福祉に関する研修機会等を設け、将来の「つなぐひと」となり得る人材の育成を推進することが必要</li> <li>○地域で活動する各団体（自治区、お助け隊、民生・児童委員、包括支援センター、社協支所など）がそれぞれの役割をもって地域福祉に関われるよう連携強化を目的とした連絡協議会を創設する</li> <li>○多様な主体が様々な角度から包括的に支援するためには、情報共有が不可欠。「個人情報『だれが・どこまで・どう』知るか」、柔軟に対応できるよう制度・運用の見直しを進めることが必要</li> </ul>